

(別添 6 -)

特徴的な取組み事例
 < 「 4 . 新しい中小企業金融への取組みの強化」について >

	体制整備等にかかる特徴的な 取組み事例
(1) 担保・保証へ過度に依存しない融資の促進等。第三者保証の利用のあり方。	○ 無担保、第三者保証人不要を原則とした中小企業融資専門店「ビジネスローンプラザ」に小規模企業の融資を集約し、ダイレクトチャネルを活用した顧客とのリレーション構築を図っている。○ 金銭債権流動化のための「顧客債権流動化プログラム」制定。○ 不動産流動化のための「不動産流動化ファンド」組成【北海道】
	1. 財務スコアリングモデルを活用した、担保・保証条件を緩和した融資商品の対応・拡充を促進する。2. ローンレビューの一環としての案件協議制度である「大口与信先等与信方針協議」「案件事前協議」を継続的に行い、信用リスクの適切な管理と融資条件の定期的な見直しを行う。【青森】
	「信用格付に応じた信用リスク量の把握」と「キャッシュフローによる与信限度額判定」等を推進し、過度な第三者保証を防止する観点から保証人の名寄せ管理の実施と第三者保証に関する規程整備を図り、また、信用格付モデル等を活用した制度融資の制定を検討する。【みちのく】
	1. 事業からのキャッシュフローを重視した融資への取組み・担保保証のあり方を示した行規（第9条）について、あらためて徹底し、過度な担保保証に依存しない融資姿勢を醸成する。・ 目利き研修等の実施により審査能力を高め、事業CFを重視した融資判断を促進する。2. 無担保・第三者保証不要の事業性ローンへの取組み現在のローン商品の取扱を継続しながら、“信用コストを反映した適正貸出金利”を織込んだ商品の開発に取り組み、事業性ローンの商品性格を強化し、推進を図る。【東北】
	担保、第三者保証人不要、スピード回答のsmallビジネスローン「Asatte」の取扱を開始。その後、県保証協会との提携商品などラインナップを充実。【荘内】
	1. スコアリングモデルに代えて信用格付を基準にした「無担保・第三者保証不要・スピード回答」事業者ローンを取扱開始2. 「TKC戦略経営者ローン」の商品性を拡充（16年5月）（融資金額：100万円→300万円、融資期間：1年→3年）3. 東北税理士会山形県および宮城県支部連合会と提携し、「税理士紹介ローン」を取扱開始（16年10月）【山形】
	4.(1)・原則、無担保・第三者保証人不要のスコアリング商品の創設・改定を積極的に行った。・電話やFAXにより事業性融資案件の相談受付を行う事業性融資専門店「ビジネスローンプラザ郡山支店」を新設した。・PFI案件に係るプロジェクトファイナンスの組成。・シンジケートローンのアレンジメント4.(3)・診療報酬債権の流動化対応【東邦】
	1. 「分別審査管理基準」を制定し、業種別審査担当者3名の配置を実施した。2. 業種は、医療業（介護関連含む）・産業廃棄物処理業の2業種を選定し、別に創業・新事業支援の審査担当者を配置した。3. 担当審査役は、目利き研修の継続参加により審査ノウハウを蓄積し、対象業種の拡大および営業店向け審査トレーナーの実施をするなど、本部・営業店融資審査の強化を図り支援態勢を構築した。【関東つくば】
	信用保証協会と提携した協調融資商品「クロスロード」や、クイック回答型のプロパーローン「スピードライン」といったミドルリスク先を対象とした融資制度を創設、積極的に活用。【足利】
	○ スコアリングモデルの活用スコアリングモデルを活用した自動審査制度の精度向上により、適用範囲の拡大を検討する。○ 第三者保証の取扱いスコアリング商品の活用により、無担保・第三者保証人不要の貸出金の取扱いを拡充する。【武蔵野】
	スコアリングモデルを活用した無担保・無保証の商品として開発した「smallビジネスローン」の積極的な推進。【東京都民】
	・過去の倒産案件のデータ収集等により、格付け制度やローングレーディングの精緻化・高度化を図り、当行独自のスコアリングモデルを開発。・キャッシュフローを重視した担保・保証に過度に依存しない新型のsmallビジネスローンの販売を開始。【横浜】
	・CRDのスコアリングモデルを活用した小口ビジネスローンの導入・第三者保証徴求の取扱厳格化（保証徴求時、客観的・合理的理由を管理資料に記入）・保全条件緩和による営業店長決裁権限の拡大【北越】

財務制限条項付無担保無保証人型融資商品を発売【北陸】
・ 無担保・無保証人の融資商品を発売・ 第三者保証人取り受けの見直し・ スコアリングモデルを利用した無担保融資商品の発売・ 売掛債権担保融資の推進・ キャッシュフロー重視の審査態勢の確立【富山】
・ 無担保・第三者保証無しの新商品の取扱開始・・・事業再生支援融資、起業家支援融資、サポートファンド保証（石川県信用保証協会との提携）、スピード保証（福井県信用保証協会との提携）・TKCとの連携強化・・・TKC戦略経営者ローン・税理士との連携強化・・・税理士紹介ローン
1. スコアリングモデルを活用した商品（@Your Money! 等の無担保、第三者保証人不要の商品）による融資の推進を図る。【大垣共立】
・ 平成15年12月に、新規開業者を対象とした無担保・無保証（第三者保証人も不要）商品「じゅうろく起業支援ローン」の取り扱いを開始した。・ 平成16年4月には、無担保・第三者保証人不要商品「ベストパートナーズローン」の商品内容を拡充した。（対象者・金額・期間の拡大等）・ さらに平成16年11月には、「ベストパートナーズローン」の商品内容を一層拡充（法人の場合代表者保証も不要とした）するとともに、当座貸越タイプの「ベストパートナーズローン」の取り扱いを開始した。・ 加えて、平成16年12月より商工会議所と提携し、商工会議所からの紹介によりベストパートナーズローンを申し込んだ場合には、利率を0.25%優遇する制度を創設した。現在、可児・多治見・瑞浪・恵那・中津川・高山・犬山・一宮の8商工会議所と提携済みである。【十六】
・ 「クレジットポリシー」（融資の基本理念と融資の取上基準）を改定し、資金使途・返済能力等の取上基準をバランスよく検討するとともに、店長が決済可能な信用貸出枠を拡大することで、担保・保証に過度に依存しない貸出推進の体制を強化した。【静岡】
・ 成長性や将来性が見込まれる新事業に取組み、産業創造・創業・経営改善を図る企業をサポートするため、中小企業支援融資3商品を発売した。また、平成17年3月には、各商工会議所との連携による原則無担保・第三者保証人不要の融資商品を導入した。【清水】
無担保・第三者保証人不要のローン商品として15年4月「みえぎんクイック事業ローン」（三重県信用保証協会と提携）、15年7月「みえぎんビジネスセレクトローン」（三井住友銀行と提携）、16年12月「みえぎん活力ローンミドルナビ」を投入。【三重】
16年4月に中部ＣＬＯの募集を開始し、7月に84件、22億円を実行した。中小企業に対する新たな資金調達手段の提供に資することができたと考える。【百五】
中小・零細企業に対してスコアリング等を活用して無担保や第三者保証人不要で取扱う融資商品の拡充を図る。【京都】
各信用保証協会と提携したカード商品については、期間中に商品改定を行い顧客利便性を高めたことから、期間中の増加額は533億円となっています。【近畿大阪】
・ 財務制限事項付きのシンジケートローンや銀行保証付私募債等を中心に積極的に取組み・そのなかでも、銀行保証付私募債の受託実績は、西日本の地銀中1位・また、ＰＦＩ事業にも初めて参画・一方、担保・保証人（特に第三者保証）の徴求については、過度にならないよう、マニュアルを新しく制定し明文化【泉州】
「地域起こし応援・融資制度」における無担保・第三者保証不要のローン商品の他に、担保を要しない商品の開発を実施致しました。【池田】
担保・第三者保証不要の中小企業向けビジネスローンを16年6月より販売、4種類のビジネスローンを取扱っている。融資権限を改定し、融資先の格付により権限の与信限度を設定し、担保・保証に過度に依存しない態勢の明確化を図った。【南都】
・ ＣＲＤのスコアリングモデルを審査と金利設定に活用した無担保・無保証の新商品（「地域応援団」）および銀行保証付私募債の取り扱いを開始した（15年7月）。・ 新しい営業拠点（ビジネスサポートセンター・15年7月開設）を通じた円滑な融資対応。・ 複数県連携型（和歌山県、宮城県、鳥取県、佐賀県）の広域型ＣＬＯに参加。【紀陽】
ＣＲＤスコアリングモデルを活用し、無担保・第三者保証人不要型の融資商品を開発する。売掛債権担保融資を積極的に活用する。【但馬】
中小事業者向け無担保・無保証人のスモールビジネスローンである、とりぎん地域振興ファンド「活力」のスコアリングモデルを充実させるため、法人用業種別モデル（建設業、卸売業、小売・飲食業、製造業）、個人事業主専用モデル（2種類）を導入し、審査に活用。【鳥取】
・ スモール層向け融資におけるスコアリング審査の実施・ キャッシュフロー計算書の自動作成システムの導入【広島】

	・第三者保証徴求状況の検証。・統計的手法による格付スコアリングモデルの採用や、定性要因の反映などによる信用格付制度の改定、「格付・自己査定システム」の導入。・適正な信用力評価（格付）に基づく、決裁権限の制定。【山口】 16年1月の融資規程の制定において、キャッシュフローを重視し、担保・保証人に過度に依存することのないよう努める旨の条文を記載し、徹底を図った。また、16年4月からの融資支援システムの本格稼働により、信用格付の精度向上を図り、融資実行後のローンレビューを強化している。同時に、スコアリングモデルを活用した商品の取扱とともに、財務制限条項を盛り込んだシンジケートローンを主幹事として組成した。【阿波】 担保・保証に過度に依存しない4商品・無担保・保証人1名でも取扱い可能な「いよぎんビジネスサポートローンA『エース』」、信用保証協会との提携による「同ローンB『ベスト』」、無担保・第三者保証人不要の「同ローンD『デラックス』」、信用保証協会との提携による「同ローンE『エナジー』」の取扱いを開始した。【伊予】 「動産・債権譲渡登記制度」等の法制度整備およびそれに伴う商慣習の変化を見込み、本邦初の動産評価専門会社と共同で売掛金・在庫等の資産を担保とした融資スキーム「アセット・ベスト・レンディング」を構築し16年下期から試行を開始した。【福岡】 ・スコアリングモデルを活用した「無担保・第三者保証人不要・迅速審査」の中小企業向け融資商品の開発・推進に取り組みました。【親和】 ・熊本県、信用保証協会等の外部機関と提携し、CRD(中小企業信用リスク情報データベース)の活用による、無担保・第三者保証人不要でスピーディーな対応の融資商品開発。・不動産担保以外の各種担保を活用した融資商品、融資スキームの開発。【肥後】 ・財務諸表の精度が相対的に高い中小企業への対応として、「大分銀行T K C戦略経営者ローン」の取扱いを開始した。【大分】 日本総研「クレジットスコアリング研究会」モデルを平成16年1月導入。同3月同モデル利用の貸出商品『ベストビジネス』取扱開始。【宮崎】 企業信用格付けが一定以上、かつ貸出シェアが低い先に対して、貸出ポートフォリオ分析に基づく貸出推進策を実施（リレバン対応強化作戦の実施）【鹿児島】
(2)証券化等の取組み	C B O（社債担保証券）を組成・発行し、地域の中小企業に無担保無保証で資本市場より新たな資金を供給する新手段を提供する。【スルガ】 滋賀県単独のC L Oを実施し、当行がアレンジャー兼オリジネーターとして、17年3月に滋賀県全体で588件13,883百万円を証券化し、うち当行は444件の11,008百万円を証券化した。中規模経済県で単独発行された中小企業向けC L Oでは、最大の発行額となる画期的な取り組みとなった。【滋賀】 ○証券化を利用したC L O融資の取組みを行い、新たな資金調達手段の提供を行った。○信用保証協会保証付のものと、オリジネーターで劣後保有するものと2種類のプログラムに参画し、合計138件26億円の資金供給を行った。【山陰合同】 「沖縄金融特区証券化プロジェクト」に基づき、17年1月に当行および沖縄銀行を幹事行とした「全国版C L O構想」を発表した。同構想を実現させるべく、参加行、アレンジャー証券等と連携を取りながら、平成18年1月～3月を目処に、第一回目のC L O発行を進めていく予定である。【琉球】 当行および県内他地銀1行による全国版CLO構想（全国版中小企業ローン資産担保証券市場構想）の実現 16年2月、第一回沖縄金融専門家会議開催 16年7月31日、沖縄県知事委嘱による研究会発足・那覇にて第1回会議開催、当行より委員を1名派遣する。 17年3月、第二回沖縄金融専門家会議を開催する。 17年3月29日UFJつばさ証券をアレンジャーに選定し、証券化委員との第1回会合を実施する。（今後のスケジュール）2005年9月 ローン募集条件最終決定2005年12月～2月 ローン募集開始2006年3月 証券化実施【沖縄】
(3)財務諸表の精度が相対的に高い中小企業に対する融資プログラムの整備	「中小会社会計基準適用に関するチェック・リスト」または「試算表および銀行別預貸金残高推移表の両方(毎月)」を提出されたお取引先に対し、最大0.25%の金利を優遇するサービスを導入しました。【岩手】 4.(1)・原則、無担保・第三者保証人不要のスコアリング商品の創設・改定を積極的に行った。・電話やFAXにより事業性融資案件の相談受付を行う事業性融資専門店「ビジネスローンプラザ郡山支店」を新設した。・PFI案件に係るプロジェクトファイナンスの組成。・シンジケートローンのアレンジメント4.(3)・診療報酬債権の流動化対応【東邦】

	○ 企業の調達手段の多様化に対応するため、保証協会保証付および銀行保証付の2つの私募債商品を揃えとともに、適債基準の改定・拡大を行った。○ また、売掛債権による資金調達商品「一括ファクタリングシステム」の取扱いを開始した。【常陽】 ・千葉県版CLOを平成16年3月、平成17年2月の2回実施。地方銀行が単独でアレンジャーとなること、個人投資家に投資信託として販売することは、初めての試み。【千葉】 1. 千葉県版CLOの取扱金融機関として中小企業の資金調達手段の多様化に対応できた。2. 日立キャピタルと提携し債権流動化のスキームを構築、17年度から実施することができた。【千葉興業】 ・ 銀行保証付私募債の変動金利型無担保無保証私募債の取組み開始・ 一括ファクタリングにおいて支払企業の二重払いリスクを軽減するシステムの取組みを開始・ 「分散型」の手形債権や売掛債権の購入を開始【第四】 金銭債権の信託を利用した債権流動化実施。【中国】 「4県（佐賀・宮城・和歌山・鳥取）合同CLO」において商工中金がアレンジャーとなり平成16年4～5月に募集を行い、同7月に実施しました。4県合計の実行額は目標を大きく上回ったものの、当行の実行額は8億円程度にとどまりました。【佐賀】
(4)その他の施策	17年1月、東北税理士会と提携し、「中小会社会計基準適用に関するチェックリスト」作成先に対する貸出金利優遇を実施。【七十七】 1. スコアリングモデルに代えて信用格付を基準にした「無担保・第三者保証不要・スピード回答」事業者ローンを取扱開始2. 「TKC戦略経営者ローン」の商品性を拡充（16年5月）（融資金額：100万円→300万円、融資期間：1年→3年）3. 東北税理士会山形県および宮城県支部連合会と提携し、「税理士紹介ローン」を取扱開始（16年10月）【山形】 ・ 信用格付・スコアリングモデルを活用し、比較的債務者区分の低い先もカバーする商品の拡充を図ったほか、TKCとの提携商品「ぐんぎんTKC戦略経営者ローン」の取扱いを開始。【群馬】 TKC会員が主催する「TKC基礎研修会」「戦略経営者セミナー」などの会合において、「TKC戦略経営者ローン」についての説明を実施、同ローンの販売促進を図った。【山梨中央】 財務制限条項付無担保無保証人型融資商品を発売【北陸】 ・ 無担保・第三者保証無しの新商品の取扱開始・・・事業再生支援融資、起業家支援融資、サポートファンド保証（石川県信用保証協会との提携）、スピード保証（福井県信用保証協会との提携）・TKCとの連携強化・・・TKC戦略経営者ローン・税理士との連携強化・・・税理士紹介ローン【北國】 スコアリングモデルを活用した、NBL、TKC戦略経営者ローンを推進し、NBLのセグメント版として、北陸税理士会会員税理士作成の「中小会社会計基準適用に関するチェックリスト」の提出によるスーパーNBL等の新商品にて対象事業者を拡大。コベナンツ（財務制限条項）を活用したDASHファンドコベナンツ型を取扱い開始。【福井】 16年2月に四国税理士会と提携した事業性貸出商品を発売。四国税理士会会員の税理士が顧問をしている法人を対象とし、税理士が作成する「中小会社会計基準適用に関するチェック・リスト」の利用により、財務諸表の精度が相対的に高い中小企業に対して無担保・第三者保証不要の事業性貸出を行った。【百十四】
(5)信用リスクデータベースの整備・充実及びその活用	

(別添6ー)

新たに導入した商品
 <「4.新しい中小企業金融への取組みの強化」について>

	導入商品の概要実績
北海道	○15年12月開設した中小企業融資専門店「ビジネスローンプラザ」に17年3月融資案件の自動審査システムを導入。原則、自動審査システムを活用して案件審査を行っている。○16年7月、インターネットを活用し、融資期間中の試算表等のモニタリングや決算実績に応じて融資利率が変動するコベナントを付した融資商品「Do it」を取扱開始。顧客債権流動化プログラム顧客が保有する金銭債権を流動化する。H17/3時点実績 2件(完成工事未収入金債権)
青森	1.平成16年5月オリックス㈱保証付融資商品を取扱開始。限度額3千万円以内、期間3年以内、担保不要、第三者保証人不要、法人は代表者を保証人、個人事業主は保証人不要。平成17年3月末実績804件/5,440百万円
みちのく	1.ビジネスローン 無担保・第三者保証人不要で、CRDモデルを活用した青森県信用保証協会と提携した事業者ローン。(17年3月末獲得実績 252件/4,535百万円)2.ビジネスローン 「ふるさと応援団」 当行独自の信用格付モデルを採用した無担保・第三者保証人不要の事業者ローン。あいおい損害保険の包括保証保険付。(17年3月末獲得実績 459件/4,728百万円)
岩手	利便性(担保・第三者保証人不要)、スピーディーな審査回答、低金利(保証料・手数料不要、格付ランク毎の低金利) 実績...15年10月～17年3月末までの実行実績、479件、4,959百万円。
東北	担保・第三者保証人不要商品の導入 与信状況・財務内容等についての行内基準化による商品 1,327件/5,121百万円 TKCとの提携による商品 9件/86百万円 信用保証協会との提携による商品 799件/10,784百万円 その他機関提携による商品 68件/133百万円
七十七	○財務制限条項付事業者向け融資商品「77パートナーズスペシャルファンド」(16/5取扱開始)(概要)・融資対象は一定の財務条件を満たす企業・財務制限条項を活用し、「長期固定金利」「無担保、第三者保証人不要」の商品性を実現・期間限定のファンド形式で随時募集(実績)・計画期間中取扱実績346件/279億円・17/3末残高253億円
荘内	担保不要、第三者保証人不要、2営業日後までのスピード回答。[Asatte]期間:最長1年、融資額:最大10百万円[Asatte・G]期間:最長3年、融資額:最大10百万円(県保証協会提携商品)[Asatte・G730]期間:最長7年、融資額:最大30百万円(県保証協会提携商品)
山形	1信用格付を基準にした「無担保・第三者保証不要・スピード回答」事業者ローン (実績:17年3月迄、億円) 商品名 信用格付 融資期間 取扱時期 実績 △スト・ソリューション21 E以上 1年以内 16年2月 60 △スト・ソリューション2171 E以上 7年以内 16年4月 93 △スト・ソリューション21E-ル E- 以上 5年以内 17年2月 9
東邦	キャッシュフロー重視商品「東邦スペシャルファンド150」の創設(16/11月) ...実績527件17,220百万円【概要】 対象者要件...企業格付B2以上(自己査定債務者区分正常先以上)の法人で、キャッシュフローによる要償還年数が7年以内であること。 融資限度額...100百万円以内 融資期間 ...7年以内 連帯保証人...原則代表者1名、担保...原則不要 決裁権限 ...融資期間5年以内かつ要償還年限5年以内については、店長専決可。 それ以外は本部稟議決裁。
常陽	○一括ファクタリングシステム(平成15年10月導入)・商品概要:手形レススキーム(売掛債権による資金調達)・実績:契約済支払企業2社、同納入業者530社 契約極度額:75億円、譲受債権額:39億円、割引残高:20億円 (平成17年3月末現在)
関東つくば	スコアリングモデルを活用した商品1.商品の概要一覧表および対象先体系図については別紙のとおり。2.実績(1)茨城県信用保証協会提携保証融資制度 商品名「ラビール100」 2,094件 304億円「イマージ」 26件 6億円 「当貸プライム」 17年4月1日から取扱開始(2)オリックス提携保証融資制度 商品名「ビジネスプラス」 17年4月1日から取扱開始
足利	クロスロード＝当行融資実行額の半分を保証協会が保証。クイック回答が特色スピードライン＝当行信用格付を基にチェックシートで簡易審査、クイック実行が特色平成15年度実行額 35,962百万円 平成16年度実行額 85,425百万円(うち下期実行額 54,462百万円)機能強化期間実行額 121,387百万円
群馬	・スコアリングモデルに基づいた融資条件と利率により、中小企業の資金ニーズに対応して、迅速な融資を可能とするもの。 ・「ぐんぎんスモールビジネスローン」取扱実績 1,431件 55億円 ・「ぐんぎんTKC戦略経営者ローン」取扱実績 2件 10百万円
武蔵野	○スコアリングシステムを活用してスコア階層別商品や新規先、債務超過先等へも対応可能な商品を、合計9商品導入した。・信用保証協会との提携商品 7商品・外部保証会社との提携商品 1商品・プロパースコアリング商品 1商品○実行累計額 3,201億円
千葉	「千葉県版CLO」千葉県・千葉県信用保証協会、地元金融機関が連携し、地域の中小企業に対し無担保・第三者保証人不要の融資制度を創設
千葉興業	1.マル付売掛債権担保融資は、15～16年度で29件1,500百万円の実績となった。2.千葉県版CLOの取扱金融機関として中小企業の資金調達手段の多様化に対応できた。24件740百万円の実績となった。
東京都民	・東京信用保証協会保証付商品○「ニュー定型」 1,014件 13,381百万円○「スーパー定型」 2,273件 51,834百万円○「プレミアム提携」 379件 11,108百万円・独立行政法人情報処理推進機構(IPA)の部分保証(95%)付商品○「中小企業IT応援ファンド」 1件 50百万円
横浜	・「スーパービジネスローン」「バリューファンド」の2商品。・資金使途は運転資金・設備資金に限定、期間5年以上・1社あたりの取扱金額はそれぞれ100百万円と1,000百万円を上限とし、案件ランク・スコアリングランク等に応じた金利設定。・機能強化計画期間中の同商品の実績は、2年間の実行ベースで2,708件/61,798百万円。
第四	・一括ファクタリングで支払企業側から懸念されていた二重支払リスクを緩和するため、連帯債務方式の一括決済システムを平成16年6月に導入。顧客のニーズ に対応するとともに、本システムに取組む企業を3先(この他、17年4月開始予定先1先あり)獲得した。(既存の一括ファクタリングからの切り替え先は5先)
北越	・商品名「新鮮力」、金額10百万円以内、期間3年以内 CRDのスコアを活用した無担保・第三者保証不要の小口ビジネスローン 16年4月取扱開始 ... 実行累計 751件、3,616百万円

山梨中央	1.信用保証協会の特別枠(無担保扱い)を利用2.融資額5,000万円以内、融資期間10年以内3.第三者保証人不要(保証人は役員、事業承継者、家族従業員の中から)4.融資対象者 要注意先以上(非抽出先含む) 平成16年12月より販売開始、17年3月末残高、465件/96億円
北陸	商品名称:ほくぎんレーションシップファンド「Tomorrow」商品概要:財務制限条項付、無担保・代表者1名のみの保証、50百万円以内実績:155件/5,095百万円(平成17年3月末 件数/残高)
富山	・CRDのスコアリングを利用した無担保商品「とやまニュービジネスローン」を発売(17年3月実績 残高3件 41,251千円)・売掛債権担保保証制度(富山県信用保証協会)(17年3月実績累計 31件 302,020千円)・無担保・無保証人融資商品「ビジネスクイックローン」を発売(当貸方式)(17年3月実績 77件 16,700千円*極度額)・無担保・無保証人融資商品「ビジネスクイックローン」を発売(当貸、証貸)(17年3月実績 119件 175,828千円*極度額・証貸残計)
北國	サポートファンド保証(石川県信用保証協会との提携)<商品概要>保証協会は形式審査(事故歴、許認可等)のみ行うことから、当行が融資適当と認める先は迅速な融資対応が可能。反面、一定の代位弁済率を超える場合、当行が損失の一部を負担する必要がある。<融資対象>保証協会の保証対象要件を満たし、当行の審査により融資適当と認めた先。<担保・保証>無担保、第三者保証不要。<実績>平成15年度 291件 3,635百万円(取扱開始 平成15年10月)平成16年度 927件 10,934百万円
福井	財務制限条項を活用し、担保・保証に依存しない融資商品として、DASHファンド・コベナンツ型を16年4月に取扱い開始 新規契約件数 24件 新規契約残高 1,215百万円
大垣共立	1.@Your Money! (無担保・第三者保証人不要) 2.@Your Money! (あいおい損保の信用保険付) 3.@Your Money!..ドット繁盛(オリックス保証付) 4.@Your Money!..ドット円満(信用保証協会との協調) 機能強化計画期間(2年間)での累計件数:2,318件
十六	・概要...中部経済産業局主導の下、岐阜県・愛知県・三重県・富山県の自治体、保証協会と協働 し、平成16年7月に協会保証付きCLOを組成。・実績...210件/4,472百万円
静岡	「しずぎんビジネスサポートローン」(平成15年10月導入)(概要)店長決裁可能で無担保・第三者保証不要のファンド型商品。 平成17年1月には、連携先の商工会議所等の会員を対象とした、「商工会議所等連携口」を追加。(実績)3,297件/43,590百万円(平成15年4月～平成17年3月)
スルガ	・信用リスクを自動審査等で定量的に判別することで、原則、担保・第3者保証人を必要としない当貸型商品を16年3月に発売開始。(17年3月末 契約件数968件 極度額5,547百万円 残高1,357百万円)・さらに証貸型商品を16年12月に販売開始。(17年3月末 契約件数51件 残高341百万円)
清水	・中小企業支援融資として、「しみず産業創造支援資金」「しみず創業支援資金」「しみず経営改善支援資金」の3商品を用意している。・「しみず産業創造支援資金」は革新法または創造法の認定を受けている事業者が対象、融資限度額100百万円以内・期間10年以内。・「しみず創業支援資金」は創業に取組む事業者が対象、融資限度額10百万円以内・期間10年以内。・「しみず経営改善支援資金」は経営改善・経営革新に取組む事業者が対象、融資限度額30百万円以内・期間30百万円以内。・既存取引先の根担保、根保証については従来の契約に従うが、原則的に保証及び担保要件は緩和している。・17年3月までの取扱実績は、「しみず産業創造支援資金」5件145百万円、「しみず創業支援資金」8件65百万円、「しみず経営改善支援資金」8件136百万円。(実行ベース)
三重	無担保・第三者保証人不要のローン商品として15年4月「みえぎんクイック事業ローン」(三重県信用保証協会と提携)、15年7月「みえぎんビジネスセレクトローン」(三井住友銀行と提携)、16年12月「みえぎん活力ローンミドルナビ」を投入。17年3月末3商品で約800件/68億円の実績。
百五	16年4月に中部CLOの募集を開始。7月に84件、22億円を実行した。
滋賀	証券化を活用した商品・コラボしがCLO融資(滋賀県単独CLO)・・・17年3月実施代表者保証のみ、無担保、信用保証協会保証付、期間5年、5,000万円以内実績:全体 588件/13,883百万円、うち当行 444件/11,008百万円 保証協会との提携商品・スーパー速戦力(リスク負担型商品)・・・16年4月発売第三者保証人不要、無担保、信用保証協会保証付、スピード回答実績:3,035件/27,248百万円
京都	・「京銀ビジネスローン<活き活き>」(H15/9発売、あいおい損害保険付) 取扱実績 1,121件、残高124億円・「京銀ビジネスカードローンR」(H15/3、オリックス保証付) 取扱実績 904件、極度額 39.7億円、残高26.8億円・「京銀ビジネスローンR」(H15/9) 取扱実績 355件、残高14.9億円
近畿大阪	スコアリングモデルを活用した商品として、法人向けの「リテール48(west)」を導入しました。この商品は申込みを受付してから48時間以内に回答するスピード商品であり、第三者保証人を必要としないものとしています。本商品の累計実績額は29,758百万円、17年3月末の残高は7,666百万円となっています。
泉州	(概要)企業の資金調達ニーズの多様化に対応するため、一定の条件を満たす企業の発行する社債(私募債)に対して、当行が保証を付与し、その総額を引き受けることによって事業資金を供給するスキーム。(実績)2年間累計取組み額:204件/30,460百万円
池田	「無担保・第三者保証不要のローン商品」融資金額:5,000万円以内融資期間:5年以内担保・保証人:無担保・第三者保証不要特長:チェックリストにより、“ヒト(人物面等)”“モノ(技術力・成長性等)”“カネ(財務面等)”を判断実績:平成16年1月～17年3月で99件取扱い
南都	016年6月より、スピード審査(審査結果の通知は、申込日から原則3営業日以内)を特徴とするビジネスローンを販売している。顧客の多様なニーズに応えるため、品揃えを以下の4商品としている。商品内容としては、当行初のスコアリング判定を活用するとともに、外部の保証会社も活用し、デフォルトリスクを最小限に抑えたものとしている。 ナント クイック・ファンド(外部保証なし、無担保1千万円まで) ナント ビジネスE-ルR(外部保証あり、無担保3千万円まで) ナント ビジネスE-ルS(外部保証あり、無担保5百万円まで) ナント TKC戦略経営者ローン(外部保証なし、無担保2千万円まで) 融資期間は が最長3年、 は最長5年以内 16年度の実行額合計は、852件 8,261百万円となっている。
紀陽	・スコアリングモデルを活用した商品(「地域応援団」)取扱実績 融資実行件数 716件 融資実行額 5,545百万円(平成17年3月末現在)・複数県連携型広域CLOへの参加 当行実行件数 166件 当行実行額 4,320百万円
但馬	融資限度額10百万円、無担保・第三者保証人不要型のオリックス株式会社との提携商品「クイック」を平成16年11月から取扱を開始し、平成17年3月末までに507件・42億円を実行した。
鳥取	キャッシュフローを重視した中小企業向け無担保・無保証型のスコアリングモデルを活用したミドルリスク・ミドルリターン商品「活力」を15年1月に発売。その後、信用保証協会と提携した商品を追加。また平成16年度には、スコアリングモデルの精度向上を図るため、業種別モデル及び個人事業主用モデルを追加した。
山陰合同	○複数県に跨って組成する2つのCLOプログラムに参画。○県、信用保証協会、商工中金等と連携したCLOは97件1,765百万円、中小公庫と連携したCLOは41件799百万円の実績となった。

中国	地銀初で認可取得した「金銭債権の信託」を利用し、売掛債権を優先・劣後信託受益権化することにより、優先受益受益権の部分を流動化。
広島	・無担保クイック保証制度(2,901件/897億円)・クイックビジネスローンパートナー(1,102件/57億円)・無担保融資制度「ブリッジ」(387件/126億円)・無担保スピード保証制度(180件/13億円)
山口	(商品概要)(商品名)ビジネスローンパート ・16年10月12日取扱開始・あいおい損保の信用保険を付保・申し込み直前に2年以上事業を行っていること。・直近期の年商が30億円以下・当行格付ランクに応じて融資額を決定・貸出先ごとのスコアにより適用利率を決定・保証人は代表者のみ17年3月末実績 ・取扱件数1343件・融資残高15,184百万円
阿波	16年8月に主幹事として財務制限条項を盛り込んだシンジケートローン(組成額27億円)を地元企業に対して組成した。また、17年3月には共同主幹事として、四国の地銀、第二地銀のみでシンジケートローン(組成額17億円)を組成した。
百十四	・スコアリング審査を活用した「114スピード・ビジネスローン」の取り扱いを15年6月より香川県で、15年8月より岡山県で開始した。17年3月末残高は 976件、11,757百万円。 四国税理士会との連携による「114ビジネスローン・アシスト」の取り扱いを16年2月より開始した。 アイフル株式会社と提携し、小口無担保ローン「114スモールビジネスローンA」の取り扱いを16年9月より開始した。
伊予	・CRD(中小企業信用リスクデータベース)のスコアリングモデルを活用し、平成16年4月に無担保・第三者保証人不要の「いよぎんビジネスサポートローンD『デラックス』」の取扱いを開始した。なお、同商品の平成16年度の取扱い実績は約41億円となっている。
四国	1. 無担保・原則保証人1名の「四国銀行TKC戦略経営者ローン」は15年9月～17年3月までの件数は、申込件数23件、実行件数5件(実行額31百万円)2. CRDスコアリングモデルを活用した、無担保・第三者保証人不要のビジネスローン「サポート 」を17年2月に発売した。17年3月までの実行は22件、257百万円である。
福岡	・16年10月、売掛金・在庫(集合動産)を担保に活用した融資手法アセット・ベースト・レンディングの試行に着手・スコアリングモデルを活用した商品については15年11月に、無担保融資商品審査用のスコアリングモデルを改訂し、融資金額・融資期間を拡大する等の商品改正を実施し、全営業店に取扱いを拡大。 15年11月改訂後の取扱い:4,791件、454億円
親和	・「無担保・第三者保証人不要」をコンセプトにスコアリングを活用した新商品(プロパー商品含む3商品の取扱いを開始しました。・初年度となった16年度における3商品の取扱実績は、1,817件24,274百万円となり、好調な実績を示しています。
肥後	<財務諸表の精度の高い事業先向商品>〔概要〕・地域税理士会と連携し、顧問税理士が作成する中小会社会計基準等に基づく所定書面を提出する企業に対して、融資適用金利を所定金利より最大0.8%優遇する事業者ローン。〔実績〕・平成16年12月創設から平成17年3月末までの融資実行実績 92件 / 1,581百万円 (平成17年3月末残90件 / 1,516百万円)
大分	商品名「大分銀行TKC戦略経営者ローン」<商品の特徴> 株式会社TKCと提携し、TKC会員の顧問先企業に対し「無担保」「第三者保証人不要」で融資を行うビジネスローン。<取扱開始日>平成16年12月8日<取扱実績>2件 / 25百万円(平成17年3月31日現在)
宮崎	【概要】無担保第三者保証人不要、クイック回答(原則4営業日以内)、最長10年、最高3,000万円、営業年数2年以上の県内中小企業または個人事業主の方対象【実績】機能強化計画期間中実績・・・1,238件、12,532百万円
鹿児島	医業における資金調達手段多様化への対応として診療報酬債権の買取スキームをグループ会社(鹿児島リース㈱)と構築(16年11月)。実績:16年度下半期 3先1,600百万円
琉球	・平成15年7月より、県内中小企業者の資金需要に対する小口事業資金の円滑化を目的として、事業性融資自動審査システムを活用した中小企業向け無担保・沖縄県信用保証協会保証付ローン「順風満帆」を発売した。発売より平成17年3月末までの累積実行件数は772件、金額は9,095百万円となっている。・平成15年11月より、創業間もない企業(個人事業主)および新規事業を目指す企業等を支援する、事業性融資自動審査システムを活用した無担保・無保証ローン「ベストサポーター」を発売した。発売より平成17年3月末までの累積実行件数は537件、金額は3,240百万円となっている。
沖縄	当行および県内他地銀1行による全国版CLO構想(全国版中小企業ローン資産担保証券市場構想)の実現 16年2月、第一回沖縄金融専門家会議開催 16年7月31日、沖縄県知事委嘱による研究会発足・那覇にて第1回会議開催、当行より委員を1名派遣する。 17年3月、第二回沖縄金融専門家会議を開催する。 17年3月29日UFJつばさ証券をアレンジャーに選定し、証券化委員との第1回会合を実施する。(今後のスケジュール)2005年9月 ローン募集条件最終決定2005年12月～2月 ローン募集開始2006年3月 証券化実施

(別添6 -)

「機能強化計画期間中の評価」および「今後の課題」
 <「4.新しい中小企業金融への取組みの強化」について>

	機能強化計画期間中 (2年間)の評価	今後の課題
北海道	○ビジネスローンプラザに小規模先を集約し、スコアリングを活用し原則無担保、第三者保証人不要の取り組みを実施した。○流動化・証券化セクターについては、一定程度踏襲。	○ビジネスローンプラザの全道展開○融資実行後のモニタリングの強化○集合債権流動化に向けたプログラム制定
青森	1.財務スコアリングモデルを活用した融資商品(16年5月オリックス㈱保証付融資商品、17年3月プロパー融資商品)を導入し、担保・保証に過度に依存しない融資の促進を図っている。2.「大口与信先等与信方針協議」「案件事前協議」等のローンレビューを実施し、信用リスクの適切な管理と融資条件の定期的な見直しを図っている。	1.「大口与信先等与信方針協議」「案件事前協議」等のローンレビューを実施し、信用リスクの適切な管理と融資条件の定期的な見直しを継続実施していく。
みちのく	集中改善期間では、当行独自の信用格付モデルを構築し、無担保・第三者保証人不要の各種ビジネスローンを制定、取扱実績も良好であり、相応の成果が得られた。	今後も随時商品内容の見直し等を行いながら、中小企業向け融資を積極的に推進して行く方針であるが、保証人管理の更なる強化に向け、規程改定のほか「保証人名寄せ」をシステム化することが当面の課題であると認識している。
岩手	従来、取組みの弱かった「担保・保証に過度に依存しない商品」を積極的に開発し、中小企業金融の円滑化に取組んだ。	中小企業金融の更なる円滑化に向けて、「担保・保証に過度に依存しない商品」の内容充実や拡販に努める。
東北	・担保・保証人の付保ガイドラインの行内周知を図り、担保・保証人に過度に依存しない付保方針の徹底を図った。・商品開発および販売拡大を図り、取組強化を行った。・担保・保証に過度に依存しない、CF重視の考え方の統一した認識が図られたことが成果と捉えている。	無担保・第三者保証人不要商品の継続的な商品開発および取扱による融資の促進が課題。
七十七	東北税理士会との提携による財務諸表の精度が相対的に高い中小企業に対する貸出金利優遇など実績をあげており、達成状況は良好と評価。	今後は、整備した融資プログラムの利用促進を図っていく。
秋田	CL0については組成を見合わせることにしたが、担保・保証のあり方を見直したほか、信用リスクデータベースの精緻化が完了し、新たな中小企業金融への取組体制が整備された。	精緻化された信用リスクデータベースによる与信管理体制を活用して、担保・保証に過度に依存しない融資を促進していく。また、買掛金一括ファクタリングなど新たなサービスによりお取引先へのさらなる利便性提供に努める。
北都	一部業種別審査担当の配置、人材育成に向けた研修の実施等、体制整備に注力。また、産学官・政府系金融機関との連携を積極的に推進。	政府系金融機関との継続情報交換、産学官連携に関するネットワークの構築による具体的優良案件の発掘。
荘内	15年4月のスモールビジネスローン「Asatte」の取扱開始以来、顧客ニーズに応じて商品開発を進め、商品ラインナップを充実させた。また、専門部署の設置等、体制整備も進展した。	顧客ニーズに合わせ、商品ラインナップの一層の充実を進めていく。
山形	1.信用格付を基準とした事業者ローンを取扱開始し、担保・保証へ過度に依存しない融資の促進を図り、相応の実績が得られた。2.税理士関与先を対象とした専用商品を用意することで税理士と共同した関与先支援態勢を強化できた。	1.信用格付を基準にした無担保・第三者保証不要・スピード回答事業者ローンの推進を更に強化する。2.TKC戦略経営者ローンおよび税理士紹介ローンの更なる商品性拡充を図る。
東邦	・無担保・第三者保証人不要のスコアリング商品の活用は十分に浸透し、また、キャッシュフロー重視の商品の開発にも取り組み、担保や保証人に依存しない融資態勢の構築を進めることができた。・また、大手行との提携によるPFIを含めたシンジケートローン組成のノウハウならびに診療報酬債権の流動化に関するノウハウの蓄積も図ることができた。	・スコアリング商品の利便性・効率性向上に向けた見直し・事業性融資専門店の更なる実効性向上ののための業務見直し・売掛債権担保融資保証制度の積極活用・シンジケートローンの当行単独組成に向けたノウハウの蓄積等の取り組みを継続し、今後とも中小企業に対する資金供給態勢の整備に向け、過度に担保保証に依存しない融資の促進に、積極的に取り組んでいく方針である。
常陽	○担保・保証に過度に依存しない融資として、スコアリングモデルや信用保証協会の保証等を活用した商品の充実を図り、推進に注力した結果、取引先数・裾野の拡大が図られた。○前述の私募債や一括ファクタリングに加え、デリバティブ商品等の販売を強化した結果、お取引先企業の資金調達手段の多様化、課題解決が図れるとともに、当行においても手数料収入の増加が図れた。	○迅速・安定的な資金調達、資金調達手段の多様化等、お取引先企業のニーズは高い。地元における積極的な融資推進施策の展開、私募債や一括ファクタリングの推進等により、地元企業へ円滑かつ安定的に資金を供給し、地域経済の活性化に貢献していく。○こうした取組みの中で、当行においても、融資拡大による資金利益の増強、役務収益の増強を図っていく。

関東つくば	1. ローンレビュー(モニタリング)より得られる信用情報の蓄積を継続実施した。2. スコアリングモデルは、茨城県信用保証協会との提携保証融資制度に活用し実績が増加した。プロパーのスコアリング商品および財務制限条項を活用した融資制度は、検討の状況にあります。	1. ローンレビュー(モニタリング)より得られる信用情報は整備の過程にあることから、具体的活用は平成17年度からとなる。モニタリングにより得られる信用情報(経営状況、成長性等)を有効活用し、経営状態を適切に把握し担保・保証に依存しない地域密着型金融を推進していく方針である。2. スコアリングモデルの活用したプロパー商品および財務制限条項を活用した融資制度の開発を課題とする。
足利	担保・保証へ過度に依存しないパッケージ型商品の取扱高が大幅増加。融資先数が増加トレンドに転換。	融資先数増加トレンドの定着化。
群馬	・当初計画に沿った取組みを実施し、中小企業向け融資商品の品揃えの充実など、中小企業向け融資プログラムの整備が図れた	・取扱状況や顧客ニーズに応じた商品改定の実施により、中小企業向け融資プログラムの一層の整備を図る。
武蔵野	○スコアリングモデルの活用スコアリングモデルを活用した9商品は、事業性貸出金の主力商品となっている。○第三者保証の取扱いスコアリング商品の活用により、無担保・第三者保証人不要の取扱いを拡充している。また、スコアリングを使用しない(外部保証付)無担保・第三者保証人不要の制度融資の取扱いを開始した。	○スコアリングモデルの活用個人事業者スコアリングモデルを活用して、個人事業主への適用を検討していく。また、デフォルトの検証、リスクヘッジ手法の検討及びモデル更改の検討等、引続き運用の徹底を図っていく。○第三者保証の取扱い引続きスコアリング商品等の活用により、無担保・第三者保証人不要の取扱いを推進する。
千葉	・証券化商品の継続的な実施や、スコアリングモデルを活用した融資商品の整備など、地域の中小企業に対し幅広い商品を提供できる態勢が整備され、相応の成果をあげた。	・千葉県版CLOを継続実施するなど、地域の中小企業への円滑な資金供給策を検討する。
千葉興業	1. CLOを取扱お客さまの資金調達多様化の一翼を担うことができた。2. 債権流動化スキームを構築し17年度の実施に備えることができた。	1. スコアリング商品を活用した貸出商品を販売し、お客さまの貸出ニーズにタイムリーに対応できる体制を構築する。2. お客さまのさまざまなニーズに対応できるようソリューション担当セクションであるナレッジセンターの機能を一層拡充する。
東京都民	スコアリングモデルを活用した無担保・無保証の商品として開発した「スモールビジネスローン」を積極的に推進することに加え、スコアリングモデルを活用した保証協会付商品の取扱開始、中小企業財務データの中での各顧客の財務面の位置づけなどを示す「企業財務レポート」を顧客とのコミュニケーションツールとして導入するなど、概ね計画通り新しい中小企業金融への取組みの強化を図ることができた。	・スモールビジネスローンの推進。・スコアリングモデルを活用した融資商品の開発。
横浜	・担保・保証に依存しない融資の促進については、上記の新商品開発・販売とあわせ、法改正にともなう「包括根保証の取得廃止」等、行内規定類への反映を着実にを行い、推進と管理の両面での充実を図ることができた。	・今後、当該商品のデータ分析を定期的に行い、審査精度をさらに高めるとともに、勉強会、研修等の継続実施により、行内への趣旨徹底を図る。・中小企業融資における財務制限条項等の有効活用についても引き続き検討していく。
第四	15年度・16年度の商品開発や営業活動を通じて、多様化する中小企業の資金調達ニーズに応える素地はできたと考えている。	資産流動化については、顧客の拡大に努め、併せて、当行として取扱うことのできる対象資産の多様化を図りたい。
北越	・小口ビジネスローンの取扱開始、県税理士協同組合との提携、私募債の積極的取扱いに加え、営業店長の融資裁権限の拡大、信用コストを加味したガイドライン金利の導入など概ね計画どおりに取組みを進めてきた。	・事業に対する「目利き」能力向上により、一層機動的な取引提案や与信判断の迅速化を図るとともに、地銀共同DBの本格稼働にあわせて定量的・統計的・理論的な裏付けを確保した信用リスク管理の高度化を進めることが今後の課題である。
山梨中央	「TKC戦略経営者ローン」および、同様にスコアリングモデルを活用した「山梨中銀新ビジネスローン」については、顧客への周知も図られ、一定の効果を上げることが出来た。また新たに導入した商品についても、利便性の高い商品設計により、短期間ではあるが、順調な実績を上げられた。	1. 今後、一層の活用を図るべく、行内の推進体制を整備する。2. リスクテイク商品の品揃えの拡充を図る。
八十二	ノ・リ・コ・ス・ローン、SPCによる売掛債権買取、保証ファクタリング、売掛債権担保融資、個別ファクタリング、シンジケートローンのアレンジ業務、私募債引受などに取組み、中小企業の調達手段の多様化の当初計画を達成できた。	・CDOへの取組みは、組成コストと地域の資金ニーズ等の関係から、具体化はできなかったが、今後広域CDOの組成などの検討を継続する。・プール化した債権の信用リスク管理方法や大量の債権の処理に適う管理システムへの対応力が課題。
北陸	私募債、シンジケートローン等には従来から対処してきたが、CLOの取扱を通じて一定のノウハウを確保するとともに、スコアリングや財務制限条項を活用した商品の品揃えは充実。一方、保証人制度の見直しも、保証契約書を全面的に改定するなど、体制の整備が進展した。	・利用実績を踏まえて、商品の見直し・整理を行い、ニーズに即応した商品内容の適切化を検討していく。

富山	・無担保・無保証人の融資商品をラインナップし、今後はスコアリングを利用したプロパー商品の発売に向けて検討中である。・店長権限規定を改訂し、第三者保証人を廃止し、無担保貸出の店長権限を上げた。・キャッシュフロー審査態勢の整備として簡易キャッシュフロー計算書を稟議時に添付する等の対応を行った。	・担保・保証に過度に依存しない融資商品の更なる周知が必要不可欠である。また商品性を高めるため、更なる金利優遇等を検討することが課題である。・財務制限条項を利用したプロパー商品開発に係るノウハウの蓄積が課題である。・売債保証、セーフティーネット保証等拡充された保証制度の周知により、信用保証の更なる利用拡大を図る。
北國	・担保保証に過度に依存しない融資手法として無担保・第三者保証なしの各種制度融資の取扱を開始した。・財務諸表の精度が比較的高い中小企業に対するローンについて、TKC、北陸税理士会との連携等により、各種制度の開発を行った。	・今後は、企業に対し、財務諸表の精度を高めることの必要性や融資条件面で金利や担保、保証人について優遇されること等を周知し、各制度の推進を行うもの。
福井	企業の財務内容を重視し、保全方針に反映させる考え方(特にコベナンツ型融資)は、時間を要しているものの着実に行内外に広がりを見せている。	スコアリングモデル関連商品については、地域の商工会議所との連携等、対象先の間口を広げ、かつ地域事業所への資金供給の機会を増加する為の企画が課題。コベナンツ型融資については、従来に無い与信判断となることもあり半ば試行的運用でもあったが、事業者ニーズの実存や、その一定の提案力を確認出来た事で、今後本格的な推進を図りたい。今後は各コベナンツの効き具合の検証や商品性の汎用化による対象先の拡大が課題。
大垣共立	スコアリングモデル活用商品の推進、第三者保証人徴求ルールの徹底等により、担保・保証への依存度は低水準で推移。「事業からのキャッシュフローを重視し、担保・保証に過度に依存しない融資」の考え方が定着してきたことから、これまでの推進状況を評価している。	引き続きスコアリングモデル活用商品の推進を図るとともに、担保・保証人の徴求に際しては、債務者の取引状況や今後の取引見通し、担保提供者、保証人の財産の状況を踏まえ、客観的合理的理由に基づき、契約締結する態勢を整備する。
十六	担保・第三者保証人不要の融資商品の開発、商工会議所との連携、あるいは証券化を活用したローンの実施など、新しい金融商品等の導入により多様化する利用者のニーズに応えることができたと評価している。	引き続き、各項目に対する商品面の充実を図るとともに、利用向上に向けた推進策を検討していく。
静岡	・「クレジットポリシー」の改定による信用リスクに応じた融資取組姿勢の明確化、「店長決裁一般事業資金貸出制度」改定による店長決裁貸出枠の拡大、担保・保証人不要の中小企業向け新商品の拡大など、「融資審査態勢の改革」等の諸施策実行により、担保・保証に過度に依存しない融資の徹底と目利き能力の向上につながり、中小企業向け貸出の拡大を達成したものと評価している。	・財務制限条項を活用した貸出商品の本格的導入や、店長決裁のプロパー貸出推進の支援ツールとしてのスコアリング審査など、新たな貸出手法の活用により中小企業向け貸出の増強を図る。・また、私募債や一括ファクタリングなどの導入を引き続き支援し、取引先の資金調達手段の多様化への取組みを支援していく。
スルガ	・過度な担保や保証に依存しない融資の促進策として、原則として担保・第三者保証を必要としない商品ラインナップをそろえ、順調な取扱い実績を残すことができた。・地銀3行と共同でCBO(社債担保証券)を組成・発行し、地域の中小企業に新たな資金調達手段を提供することができた。・財務諸表の精度が高い企業に対する融資プログラムとして、企業の信用リスクを高精度で判別できる自動審査システムをバージョンアップし活用した。	・担保や保証に過度に依存しない融資商品ラインナップをさらにそろえ、自動審査システムや、財務データ登録システムのチューニングを実施し、営業面ならびに審査面の態勢を拡充する。・CBOやCLO等のスキームを研究し、地域の中小企業に新たな資金調達手段を提供することを目指していく。・格付自己査定システムの稼働を開始する等、審査態勢にさらなるIT化を推し進め、顧客の信用リスクを的確に把握する仕組みを充実させていく。
清水	・使途が明確、あるいは詳細な事業計画(経営改善計画)がある資金需要につき、産業創造・創業・経営改善という切り口において中小企業への融資プログラムを用意した。・但し、一般中小企業における通常の資金需要に対応するプログラムの整備には至らなかった。・保証制度に関しては、包括根保証の新規取扱いを廃止したほか、民法改正に併せて保証制度全般の見直しを実施した。	・クレジットスコアリングモデルを活用した、中小企業の通常の資金需要に対応できる融資プログラム(定型商品)の整備。・クレジットスコアリングモデルの審査業務への活用。・保証人徴求に係わる指針の策定。
三重	無担保・第三者保証人原則不要のローン3種類を投入し、担保・保証へ過度に依存しない融資を促進する体制を整備できた。また、中部CLOへの参加や私募債受託の推進等により、中小企業の資金調達手段の多様化に対応した。	無担保・第三者保証人原則不要のローンの推進、新たな商品の開発を行うとともに、証券化を活用した商品や財務諸表の制度が相対的に高い中小企業に対する商品の整備などにより、地元中小企業向け資金供給をさらに円滑に行っていく。
百五	順調に進捗した。	現状の取組みを継続・高度化し、新しい中小企業金融への取組みの更なる強化を図っていく。特に保証人の徴求基準を緩和した中小企業金融に注力していく方針。
滋賀	・中小企業の新たな金融手法の1つである証券化については、自治体と共同したCLOを滋賀県単独で実施し、当行はアレンジャーとして、地域での新たな資金循環を実現するスキームを実現することができた。	・シンジケートローンのアレンジメント業務やCLOの実施により、新たな金融手法のノウハウが蓄積できた。今後の営業展開へ積極的に活用したいと考えている。・スコアリング等を活用することで、担保・保証へ過度に依存しない融資の仕組みを構築していく。
京都	・中小・零細企業向けの無担保、第三者保証人不要のローン商品のラインナップが整い、商品の拡販を実施した。・個人信用情報機関CCBへ加入し、スコアリング審査の向上をした。・ビジネスローンRの融資期間を3年→5年へ延長し、案件対象先の拡大を図った。	・信用補完、経営責任の明確化等を目的に担保・保証を徴求しているが、取扱いにあっては保証、担保提供の厳格な意思確認を実施するとともに根保証は限定根保証としている。・担保・保証徴求の考え方、契約方法等を随時見直しの上、担保保証に過度に依存しない融資の取組みを検討していく。

近畿大阪	協会との提携商品やスコアリングモデル商品においては一定の成果を挙げることができました。	スコアリングモデル商品の多様化を図り、マーケットセグメントに応じた商品を設定する必要があります。特に、取引先数の多い個人事業主向け商品の導入を早期に図りたく、検討中であります。
泉州	・新しい融資形態として、銀行保証付私募債、シンジケートローン等を積極的に取組みを実施・地銀協「信用リスク情報統合システム」の追加機能を活用・保証人の徴求について、事前説明ルールやツールを検証・改定	・新しい融資形態として、引き続き銀行保証付私募債、シンジケートローン等を積極的に取組み・スコアリングモデルを活用した商品開発・簡易審査の導入が残された検討課題・地銀協「信用リスク情報統合システム」の追加機能による、商品開発や簡易審査等への活用を引き続き研究・大阪府・大阪市と連携した部分保証制度の導入等、新しい資金供給スキームの開発
池田	当初の取組方針通り、担保・保証に依存しない融資の取組みや地元のお客様に新たなスキームでの資金調達方法を新商品の開発を通し、提供・推進することができ、概ね評価できる内容となりました。	地元中小企業金融が一層円滑に行われるよう、既存商品の拡充や推進、新たな商品の開発に努めるとともに、担保や保証人に依存せず、人物面・技術力・成長性・財務内容など“ヒト・モノ・カネ”の目利きによる融資判断の着実な実践と体制の浸透が今後の課題となります。
南都	○担保や保証に過度に依存しない中小企業向け融資の促進策として、融資権限改定と新商品開発（ビジネスローン）に取組み、一定の成果をあげている。○企業財務サポート室員と審査役の連携による企業状況の把握強化、審査グループへの行員の新規配置等、業種別の特性や動向等調査を強化し、また担保・保証に過度に依存しない業績やキャッシュフロー重視の審査態勢を構築した。	○中小企業向け融資の促進策として取組んだ融資権限の改定と新商品開発は、審査期間を短縮し、企業の資金需要ニーズに素早く対応できる態勢を作り上げたものと思料しているが、商品の多様性を拡張し、より資金ニーズに応えられるよう考慮する。○引き続き業種別の特性や動向等調査の強化を行い、資金需要の特徴を審査に活用し、担保・保証に過度に依存しない、業績やキャッシュフロー重視の審査手法と態勢を向上させる。○財務制限条項の導入については、金融機関の優越的地位の濫用にならずに、顧客の理解を得られる内容を考慮し、引き続き検討を続ける。
紀陽	スコアリングモデルを活用することにより、審査を簡素化した商品を取り扱ったことについては、新たな取組として今後に活かしていけるものと考えている。広域ＣＬＯについても、積極的な募集を行った結果、予想を上回る取扱につながった。	スコアリングモデルの活用は、担保・保証に依存しない融資への取組という点から、リテール先の信用リスク評価や外部との提携なども含めて具体的に幅広い活用に向けた検討を行っていく必要がある。ＣＬＯは、取組件数が少ない場合の対応は可能であるが、本格的な証券化融資に取り組むためには、特に管理面やサービシングを中心に、体系的な対応も含めたインフラ整備が必要である。
但馬	兵庫県信用保証協会、ＴＫＣ近畿兵庫会およびオリックス株式会社等との提携により、担保・第三者保証人を不要としたビジネスローンの取扱開始により、概ね計画が達成できた。	組織体制や営業基盤が脆弱な中小・零細企業に対するまとまった与信に対しては、担保・保証が融資判断の重要な要素の一つではあるが、小口案件については、財務スコアリングを審査に活用した商品の開発を継続して行う。
鳥取	「活力」シリーズの取組累計は100億円を突破。近隣他行に先駆けスコアリングモデルを導入し、モデルの精度向上にも努めた。また新たにＴＫＣ全国会と提携したＴＫＣローンや自治体が共同で行う広域型ＣＬＯにも参加するなど、積極的な取組みを行った。	スコアリングモデルの更なる精度向上と、マーケットに適した商品開発を行い、主要な取引先である中小事業者への円滑な資金提供の取組みを一層強化していきたい。
山陰合同	○保証人の徴求基準の改定、営業店長専決貸出規程の改定、スコアリングモデルを活用したスモールビジネスローン等の推進を通じ、担保・保証に過度に依存しない融資の態勢整備を図り、概ね計画通りの取組みを行った。○ＣＬＯ商品についても概ね計画通りの取組みを行い、証券化商品の取扱いについてのノウハウの蓄積も図ることができた。	○適切なプライシングの考え方について、行内においては浸透・定着化が図られつつあるものの、（理解を得て）顧客に浸透するまでには時間を要するものであり、引き続き適切な案件審査（商品設計）を行い、プライシングの考え方が顧客にも浸透するようになることが課題である。○取組みを行ったＣＬＯについては、サービシング業務のノウハウの吸収・蓄積することが課題である。
中国	小ロットの場合、ＳＰＣより低コストと出来る金銭債権信託やファクタリングでの流動化ソリューションを提供。中小企業の資金調達手段の多様化に寄与出来たと評価している。	取扱実績の増加を目指すとともに、新商品新手法の継続的研究が必要と考えている。
広島	信用保証協会との連携強化により、無担保融資商品の促進に一定の成果	デフォルト実績の検証等も踏まえ、さらなる新商品の開拓を図るなど一層の拡大を図っていく。
山口	・企業の信用力をより適正に評価する信用格付制度の改正、及び適切な運用を行う格付自己査定システムを導入し、併せて決裁権限基準の改正を行った。・第三者保証人を徴求する場合の注意点について「与信取引に関する説明要領」に記載した。・シンジケートローンから債権流動化まで市場型間接金融の一通りの手法に取り組み、ノウハウの蓄積を行った。ＣＬＯについては、福岡県スキームには参加したが、その他のスキームについては中小企業及び当行にとってのメリットを見定めている。	・「与信取引に関する説明要領」について、17年4月以降全店向け説明会を実施することから、今後の全店への浸透が課題。・一通りのノウハウ蓄積はできたが、今後コミットメントラインや流動化の応用商品など取り扱いの幅を広げるとともに、より使い勝手のよいスキームにモデルチェンジを行っていく。また、営業現場においても新しい金融手法に対する認識が高まってきており、取引先のニーズに積極的に対応していく

阿波	1.融資規程において、キャッシュフローを重視し、担保・保証人に過度に依存しない旨の条文により融資スタンスの構築を図った。2.クレジットスコアリングモデルを利用した2商品の取扱を開始するとともに、主幹事として財務制限条項を盛り込んだシンジケートローンを2件組成した。3.売掛債権担保融資、銀行保証付私募債および保証協会付特定社債の取扱により、多様化する中小企業の資金調達ニーズに対応した。4.日本リスクデータバンクへの参加および地方銀行協会の信用リスク管理高度化プロジェクトにより、他行と共通の信用リスク評価方法・信用リスクデータベースの整備を進めた。	引き続き、信用格付・自己査定精度向上を図り、より一層企業の実態把握に努めることによりローンレビューを実施し、キャッシュフローを重視したタイムリーな融資促進を図っていく。
百十四	「スコアリングモデルを活用した無担保小口融資」、「財務諸表の精度が相対的に高い中小企業に対する無担保小口融資」、「外部保証付の無担保小口融資」等、新しい中小企業金融への取組み強化に必要な商品は充実してきた。また、第三者の保証人の見直しや信用リスクデータベースの整備等についても、ほぼ計画通りに進捗した。	担保・保証へ過度に依存しない融資促進の観点から、今後も商品開発や体制整備を継続していく。
伊予	担保・保証に過度に依存しない4商品の開発および取扱いを開始することによって、新しい中小企業金融への取組みをさらに強化したものと認識しており、今後も引き続き積極的にこれらの新商品を推進したいと考えている。	既に取扱いを始めている担保・保証に過度に依存しない商品を引き続き充実させていく必要があるものと認識している。今後においても、新商品の開発を検討するとともに、より幅広い顧客の資金ニーズに対応できるよう既存商品の改定を検討したいと考えている。
四国	1.15年8月調査の結果、個人事業主を含む中小企業向け融資残高の49.9%が担保による保全が無い信用扱であり、担保に過度に依存している状況に無い。2.15年10月実施の保証人調査の結果、プロパー融資に占める第三者保証残高の割合は10.9%であり、保証に過度に依存している状況に無い。	1.TKCローンは取扱を増加するために、TKCが開催する毎月の定例会へ参加するなど、税理士事務所との情報交換に努めているが、今後制度のPRや、四国地区のTKC会員(税理士)との交流を計り、持込案件の増加、取扱件数の増加につなげていく必要がある。2.サポート はさらに金利などの水準を見直し検討したうえで、今後とも取扱拡大を推進する。1.第三者保証のあり方については今後とも検討してゆく。2.格付に信頼を置いた与信運営をさらにすすめる、今後とも担保・保証に依存しない態勢を構築する。5.保証人情報のシステム化を検討する。
福岡	・アセット・ベース・レンディングに関しては、担保・保証に過度に依存しない融資スキームの具体的な取組として、動産公示制度の施行前に着手し、仕組みの構築を行った。・その他上記取組(無担保スコアリング商品の開発・拡販および「アセット・ベース・レンディング」の融資スキーム構築)に加え、「保証人徴求基準」などの規程類の改正を実施。「担保・保証に過度に依存しない融資取組」に向けて、着実な進捗が	・財務制限条項、売掛債権を活用した商品について検討中であり、早期に商品化する・アセット・ベース・レンディングについても動産公示制度が施行される17年10月までの間に、具体的な案件を積み重ねることが課題
筑邦	担保・保証に過度に依存しない融資商品としてCRD(中小企業信用リスクデータベース)を利用した保証協会との提携商品や福岡県等との提携商品「元気フクオカ」、当行独自商品「筑銀ビジネスローン」等を引き続き積極的に推進。引き続き、事業価値に着目した融資手法の開発等、地域取引先企業の資金調達手段の多様化に取り組んでいく。	基準金利導入、格付・自己査定システムの精緻化及びスコアリングモデルの開発をすすめ、新たな商品等の導入を検討する。
西日本シティ	自動審査システムやスコアリングモデルを活用した小口融資商品「QBL」を合併後の新銀行に導入いたしました。また、シンジケートローンの組成や私募債・ノンリコースローン等にも積極的に取組み、新しい中小企業金融への取組みは強化されたと評価しております。	中小企業の資金調達の多様化への対応や、担保・保証に過度に依存しない融資の促進に向けての取組みを、継続的に推進してまいります。
佐賀	スコアリングモデルを利用した商品など進んでおりますが、財務制限条項を活用した商品やTKCなどと連携した商品などまだまだ研究途上の分野もあると認識しております。	スコアリングモデルを利用した商品など進んでおりますが、財務制限条項を活用した商品やTKCなどと連携した商品などまだまだ研究途上の分野もあると認識しております。
十八	担保・保証に過度に依存しない融資を促進すべく「中小企業サポートローン」(15年7月)、スコアリングを活用した保証協会との提携商品「パワーアップ3000・同1500」(16年4月)の取扱いを開始しました。(17年3月末現在の件数・残高:「中小企業サポートローン」...47件/44百万円、「パワーアップ3000・同1500」...1,212件/150億円)「融資の基本方針(クレジットポリシー)」を改定し、担保・保証へ過度に依存しない融資の促進を図り、第三者保証も過度なものにならないようにする考え方を明記しました。(16年6月)また、「融資規定」を改定し、包括根保証の新規受入れを廃止しました。(16年7月)	今後もお客さまの多様なニーズにお応えできるよう努めてまいります。
親和	・融資先の財務実態にウェイトを置いた審査手法の開発に取り組んだ結果、CRDのスコアリングモデルを活用した「無担保・第三者保証人不要」の中小企業向け融資商品を開発し、好調な取扱実績を示すなど、計画どおり進捗したものと評価しています。	・担保・保証に依存しない融資の取組みを強化するため、貸出データの蓄積と分析により、当行の融資実態に沿った、より精緻なスコアリングモデルの開発に取り組めます。・17年4月からの根保証制度の改正に対応すべく実施した、根保証契約に係る融資規定ならびに諸契約書の改定について、行内の周知徹底を図ります。

肥後	・CRDを活用した融資商品を4制度創設。・当該融資商品により、中小企業向商品の充実が図られ、CRDスコアの活用により、迅速対応かつ無担保・第三者保証人不要の商品内容を実現。・既存の売掛債権担保融資(信用保証協会保証付)の取扱拡大、及び知的財産権担保融資スキームの開発等、各種担保を活用した融資の取組みにも注力。	・別業態(民間保証機関等)と提携し、信用保証協会の保証対象外業種も融資対象とする等、既存商品を拡充した融資商品の開発。・動産等、不動産担保以外活用した融資商品・融資スキームの開発。
大分	・「TKC戦略経営者ローン」の取扱いやスコアリングを活用した融資商品の導入などにより、担保・保証に過度に依存しない融資の促進が図れた。	・証券化等の取組みではノウハウ蓄積等のため調査・研究を継続し、また、不動産流動化の研究をより具体的に行う。
宮崎	スコアリングモデル利用融資(上記)、売掛債権担保融資(27件、298M)、私募債(45件、4,460M)、シンジケートローン(アレンジャー3件、1,200M)等個別商品で見ても一定の実績があげられたものと評価する。	今後も新たな中小企業金融手法については、市場性(ニーズ)を十分勘案した上で積極的に取り組んでいく方針であり、その為にも新商品に対する行内営業体制の整備(スキーム構築)が当面の課題である。
鹿児島	担保・保証に過度に依存しない融資商品の提供、資金供給手法の多様化、営業戦略サポートシステムKeyManS3を活用した信用リスクデータベースの充実、さらにはマス審査層向けの与信判断モデルの構築(17年度上期稼働予定)等を図り、当初計画通り、新しい中小企業金融の取組みを強化した。	今後も既存商品の推進、新たな資金供給手法の研究・実施、スコアリングモデルの活用、また企業の将来性や技術力を的確に評価するための人材育成や専門機関との連携強化等により、新しい中小企業金融の取組みを推進していく。
琉球	「担保・保証へ過度に依存しない融資」の促進、「第三者保証の利用のあり方」の見直しについては、一定の成果が得られたものと認識している。	今後は融資実績データを基に、自動審査スコアリングモデルの検証を実施し、融資条件の見直しおよびスコアリングモデルのいっそうの精緻化を図る必要がある。
沖縄	金融特区を活用した新たなビジネスモデルとなる広域型のCLOである。特定地域に貸出案件が集中する地域リスク分散が可能となり実現化に向けて取り組んでいく。	将来に向けて当行がアレンジャーとしての信託機能の充実